

## （1）事業の目的

下水道施設は市民生活や経済活動を支え、水環境の保全を図る社会基盤施設であり、処理施設の耐震化を図ることで、地震時においても被害を最小限にとどめ、処理機能を維持することを目的とする。

## （2）指標：耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設数

流域下水道の処理場施設のうち耐震補強が完了した棟数を指標として設定した。

### 指標の達成状況

平成30年度末の中間実績値は50%であり、目標値（61%）を達成できなかったが、令和2年度の最終目標値達成に向け、重点的に施設整備を進める。

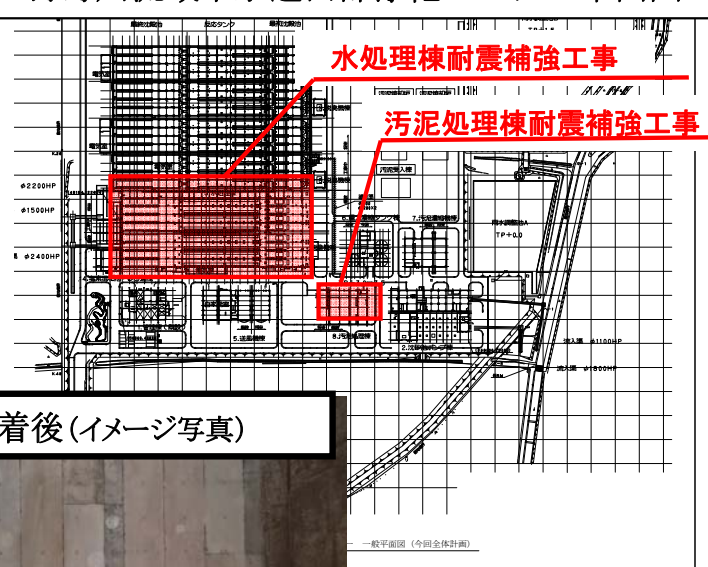
計画の成果目標	定量的指標の現況値及び目標値			
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	中間実績値
	(H29末)	(H30末)	(R2末)	(H30末)
耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設数	39.9% (7/18)	61.1% (11/18)	77.8% (14/18)	50.0% (9/18)

## （3）指標に関連する実施事例【耐震補強された施設】

### ◆事業の効果(狩野川流域下水道)

耐震機能が確保していない水処理棟及び汚泥処理棟の耐震補強工事を実施することで、処理機能の維持が図られた。

狩野川流域下水道西部浄化センター平面図



## （4）定量指標以外の効果発現状況

狩野川東部・西部浄化センターでは、耐震化工事と同時に水処理及び汚泥処理施設の改築更新工事を行うことで、工事による処理施設への影響を最小限に留めるとともに、重複工事を減らすことでコスト縮減を図っている。

## （5）今後の方針と目標達成見込み

引き続き耐震対策を実施し、「静岡県地震・津波アクションプログラム2013」に基づく令和4年度の耐震化完了のため、令和2年度末における必要棟数の耐震補強を行う。